



株式会社ハイパーボックス
おまかせサーバサービス

フリーCGIサービスご利用マニュアル

この度は弊社サービスをご利用頂き、誠にありがとうございます。このマニュアルには、フリーCGIサービスのご利用方法や注意事項を記載しております。またフリーCGI サービスに付随する共用 SSL サービスや MySQL サービスの仕様につきましても記載しておりますので、あわせてご利用下さい。

サービスについてご不明な点がございましたら、おまかせサーバサービスセンタまで、お気軽にお問い合わせ下さい。

おまかせサーバサービスセンタお問い合わせ一覧	
Web サイト (会員専用ページ)	http://member.omakase.jp/
一般的なお問い合わせ	info@omakase.jp
技術的なお問い合わせ	tech@omakase.jp
登録に関するお問い合わせ	reg@omakase.jp
サービスセンタ 電話番号	03-5304-8163
サービスセンタ FAX 番号	03-5304-8162
書類送付先	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4 5F 株式会社ハイパーボックス おまかせサーバサービスセンタ宛

フリーCGIサービスマニュアル目次

■ サーバの仕様.....	3
◆ サーバOSについて.....	3
◆ Webアクセス方法.....	3
✦ フリーCGIサービス.....	3
✦ 共用SSLサービス.....	3
◆ ファイル名の指定がないアクセス.....	4
◆ サーバエラーの種類.....	5
◆ 利用可能なディスク容量.....	5
■ FTPサービスの仕様.....	7
◆ FTPログイン情報.....	7
◆ ディレクトリ構成.....	8
◆ Webアクセスログ.....	8
◆ FTPソフトウェア.....	9
◆ FTPアクセス制限方法.....	9
◆ FTPアクセス制限ファイルの無効化.....	11
■ CGI(Perl)/PHPの動作環境.....	12
◆ 利用上の注意事項.....	12
◆ 拡張子について.....	12
◆ バージョンと各種コマンドパス.....	13
■ データベース.....	14
◆ MySQLとphpMyAdmin.....	14
◆ ご利用上の注意事項.....	15
◆ MySQLデータベースの追加.....	16
✦ メールによるご連絡.....	16
✦ FAX/郵送によるご連絡.....	16
◆ データベース上のデータについて.....	18
✦ phpMyAdmin経由によるデータベースのバックアップ方法.....	18
✦ phpMyAdmin経由によるバックアップデータのリストア.....	20

■ サーバの仕様

● サーバ OS について

フリーCGI サービス用サーバに採用している OS は Linux ベースの Turbo Linux Appliance Server2.0 となります。Web アプリケーションは Apache2 系です。

● Web アクセス方法

✦ フリーCGI サービス

CGI サーバと Web サーバ共にフリーCGI サービスを提供しております。
WWW ブラウザでアクセスする際には、下記の通りとなります。

CGI サーバの URL

[<http://cgi.お客様ご利用ドメイン名/>]

Web サーバの URL

[<http://www.お客様ご利用ドメイン名/>]

✦ 共用 SSL サービス

共用 SSL サービスをご利用頂くことにより、共用ドメイン名を使い、SSL 暗号化通信をご利用頂くことが可能です。共用 SSL サービスをご利用の場合は CGI サーバにコンテンツデータを設置して下さい。[<http://cgi.お客様ご利用ドメイン名/>]にてアクセスが可能な URL は、同時に、

<https://cgi1.sec4u.jp/お客様ご利用ドメイン名/>

からもアクセスが可能となります。[<https://>] で接続することにより、CGI サーバとクライアント(アクセスされた訪問者)間における通信を暗号化します。

個人情報を入力するお問い合わせフォームや、重要なパスワードを使い、認証するページなどに対して、ご活用下さい。

共用 SSL をご利用の際には、リンク先や Form タグの Action 先を[<https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ファイル名/>]のように記述して頂く必要があります。

アクセス対象の CGI/PHP において、[cgi.お客様ご利用ドメイン名]と指定している設定が存在する場合、共用 SSL 用 URL では動作にエラーが発生することがあります。

[https://cgi1.sec4u.jp/]の SSL 通信は、暗号化のみを目的としており、企業実在証明やサイト実在証明は含まれておりません。また、セキュアサイトシール、スマートシールといった SSL 対応を明示するシールはご利用頂けません。

● ファイル名の指定がないアクセス

URL が [/]で終わるアクセスのようにファイル名の指定がない場合、自動的に[index.html]を参照します。[index.html]が存在しない場合、以下のような順序でファイルを参照し、いずれも存在しなかった場合には 404 File Not Found エラーが発生します。以下は CGI サーバでの動作となり、Web サーバにつきましては「Web サービスご利用マニュアル」をご参照ください。

Directly Index	
優先順位	参照ファイル名
1	http://cgi.www.お客様ご利用ドメイン名/ index.html https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ index.html
2	http://cgi.www.お客様ご利用ドメイン名/ index.htm https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ index.htm
3	http://cgi.www.お客様ご利用ドメイン名/ index.shtml https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ index.shtml
4	http://cgi.www.お客様ご利用ドメイン名/ home.html https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ home.html
5	http://cgi.www.お客様ご利用ドメイン名/ home.shtml https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ home.shtml
6	http://cgi.www.お客様ご利用ドメイン名/ default.html https://cgi1.sec4u.jp/お客様ドメイン名/ default.html
--	上記いずれのファイルも存在しない場合、404 File Not Found エラー

サーバは、大文字/小文字を区別しており、異なる文字列と認識します。例えば、[INDEX.HTML]や[Index.Html]は、[index.html]と同等ではありませんので、ご注意下さい。

◆ サーバエラーの種類

アクセスしたディレクトリ/ファイルが存在しない、アクセス禁止設定になっている場合など、サーバはエラーを発生します。

サーバエラーの種類		
エラーコード	内容	対処方法
403 Forbidden	アクセスを禁止する状態(実行権限)に設定されています	実行権限を[644]にするなどの変更して下さい
404 Not Found	アクセスしたファイルが見つかりません	アクセス先ファイル名の確認、またはアップロードして下さい
500 Internal Server Error	CGI のエラーが発生しています	実行権限の確認、CGI スクリプトの確認を実施して下さい

エラーが発生した場合には、発生しているエラー内容をご参照の上、適切な対応を行って頂く必要があります。これらのエラーは、ご利用頂いているサーバ側での障害ではありません。

◆ 利用可能なディスク容量

Web サイトコンテンツデータは、利用可能ディスク容量以下である必要があります。利用可能ディスク容量は、ご契約頂いているプラン、オプションによって異なります。

利用可能ディスク容量(標準)	
ホスティングプラン	ディスク容量
ベーシック	400MB(Web サーバと CGI サーバの合計)
セキュア	500MB(Web サーバと CGI サーバの合計)

利用可能ディスク容量を超過すると、新規ファイルをアップロード出来ない、CGI/PHP 経由で行われるファイル操作に失敗し、該当ファイルがゼロクリアされるなどの予期せぬ不具合が発生致します。現在のサーバ上に存在するデータ量を確認されたい場合には、恐れ入りますが、都度、弊社までお問い合わせ下さい。

FTP ソフトによってはサーバ上に存在するファイルデータを計算出来る仕組みを持っています。この場合、計算内容や仕様によって、FTP ソフトの結果とサーバ側の実使用ディスク容量は異なることが多々あります。一般的に、FTP ソフトの計算結果の、1.2～1.5 倍程度の容量が、サーバ側の実使用ディスク容量となります。

フリーCGI サービスのディスク容量の増設について、追加ディスクオプションにて承っております。現在の利用可能ディスク容量以上のデータ量がある場合には、追加ディスクオプションをご検討下さい。

■ FTP サービスの仕様

◆ FTP ログイン情報

サーバに HTML ファイルや画像ファイルをアップロードするためには、FTP クライアントソフト(以下、FTP ソフト)を使い、サーバにログインする必要があります。FTP ログインに必要な情報は、

【FTP ホスト名】(cgi.お客様ドメイン名) または (www.お客様ドメイン名) 【FTP ログイン名】 【FTP ログインユーザのパスワード】

となります。ご契約時の書類に上記情報が記載されておりますのでご確認下さい。外部業者の方にホームページ作成を依頼される際など、必要に応じて上記情報をお伝え頂くこととなりますが、ログイン情報の管理は厳重に行って下さい。

公開するファイルは、必ず[/web]にアップロードして下さい(ディレクトリ構成図をご参照下さい)。FTP ログイン後、ディレクトリを3階層上って頂いた[/]にある[web]ディレクトリとなります。

FTP では、アップロードの他に、データのダウンロードも可能です。サーバ上に存在するデータは、定期的にバックアップを必ず行って下さい。

FTP ソフトによっては、FTP ログイン時に指定されたディレクトリへ移動する機能を持っています。FTP ソフトによって機能の名称が異なりますが、ホストの初期フォルダ、ホスト開始フォルダ、保存ディレクトリなどと呼ばれています。この機能がある場合には、

`../../web`

と指定頂くことで、FTP ログイン時、自動的に[/web]に移動することが可能です。この機能については、お手持ちの FTP ソフトマニュアルをご参照下さい。

◆ ディレクトリ構成

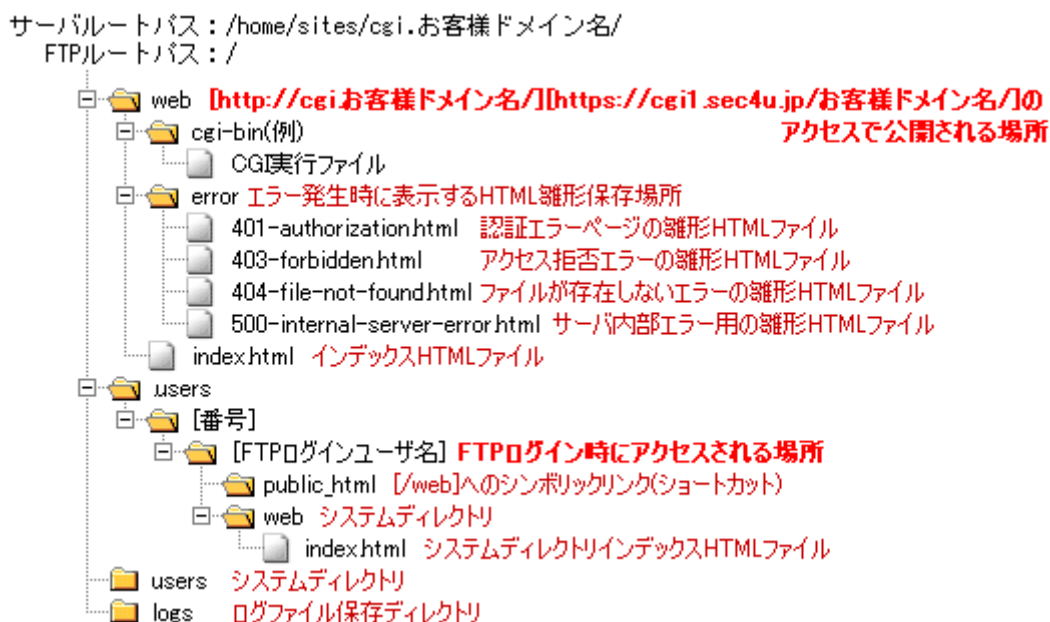
ディレクトリとは、ファイルを分類・整理するための保管場所です。Microsoft Windows や、Apple Mac OS では、同様の概念をフォルダと呼びます。

サーバ内部のディレクトリ構成は下図のようになっております。これらは、FTP ソフトウェアでサーバにログインし、Web コンテンツファイルなどをアップロードする際や、管理運用に必要な情報となります。

サーバには初期状態で様々なディレクトリ/ファイルが存在し、役割があります。初期状態で存在するディレクトリは変更しないようご注意ください。

Web サーバのディレクトリ構成につきましては「Web サービスご利用マニュアル」をご参照下さい。

・ CGI サーバ ディレクトリ構成図



◆ Web アクセスログ

[/log]ディレクトリ配下には、[web.log]というファイル名にて、Web アクセスログが保管されております。必要に応じてFTP経由でダウンロード下さい。Web アクセスログファイルは、50MB~最大 200MBまで保存され、gzip 形式(web.log.[世代数].gz)にて過去 4 世代分が存在しております。

アクセスログに関しましては弊社サポート対象外となります。また、弊社都合により削除させて頂く場合もありますので、予めご了承下さい。

◆ FTP ソフトウェア

FTP ソフトとしては、FFFTP、NextFTP、FTP Explorer、Fetch などの他、IBM ホームページビルダー、Adobe Dreamweaver などの Web サイト構築ソフトにも FTP 機能があります。

弊社では、FTP ソフトをご提供しておりませんので、別途ご用意下さい。FTP ソフトの使用方法につきましては、開発/販売元へお問い合わせ下さい。

◆ FTP アクセス制限ファイル設置方法

対象のディレクトリに “.ftppaccess” ファイルを設置することで、制限することが可能です。

“.ftppaccess” の設定については下記設定手順をご参考にして下さい。

FTP アクセス制限については弊社サポート対象外となりますのでご了承下さい。

※ 注意事項

- FTP アクセス制限はウェブサイトの運用に影響を及ぼす場合がございます。
- [.ftppaccess]は、設置したディレクトリ配下全てに有効となります。
仮に [/] (ルートディレクトリ) 内に設置した場合、ユーザ用のディレクトリも影響を受けます。
- 許可する IP アドレス/ホスト名を誤って設置すると FTP での操作 (リスト表示、PUT、GET) が出来なくなります。またセキュリティを損ねてしまう場合もございます。

【設定手順】

1. FTP アクセスを許可する IP アドレスやホスト名を確認します。
2. メモ帳などのテキストエディタを起動し、以下のフォーマットに従い、内容を記述して下さい。
Allow from { 接続元情報 }に許可する IP アドレスやホスト名などを記述していきます。
Allow from に続いて記述された接続元のみ FTP アクセスが許可されます。

【.ftppaccess フォーマット】

```
<Limit ALL>
    Order Allow,Deny
    Allow from { 接続元情報 }
    Deny from all
</Limit>
```

【Allow from { 接続元情報 }の記述 (例)】**Allow from グローバル IP アドレス**

- ・グローバル IP アドレスから FTP アクセスを許可します。
接続元が固定グローバル IP アドレスの場合に有効です。

Allow from .jp

- ・[.jp]で終わるホスト名に対して、FTP アクセスを許可します。
日本国内の多くのプロバイダが許可されます。
一部の国内プロバイダは[.net]を使うこともありますのでご注意ください。

Allow from .tokyo.isp.example.jp

- ・[.tokyo.isp.example.jp]で終わるホスト名に対して、FTP アクセスを許可します。
同一プロバイダで特定の地域からのみ許可したい場合に有効です。

3. ファイル名を[ftpaccess.txt]として保存します。
4. 作成した[ftpaccess.txt]ファイルを FTP ソフトでサーバにアップロードします。
アップロード先は、制限したいディレクトリ配下とします。
5. アップロード先の[ftpaccess.txt]について[.ftpaccess]にファイル名を変更します。
以上で FTP アクセス制限は完了です。
FTP アクセス制限について動作確認を必ず行なうようにして下さい。

◆ FTP アクセス制限ファイルの無効化

“ftpaccess” 設置後、FTP の操作が出来なくなった場合、許可する IP アドレスもしくはホスト名を誤って記述した可能性があります。

この場合、お客様側から[ftpaccess]ファイルを修正することはできません。

弊社担当者が[ftpaccess]のファイル名を変更し、制限を無効化致しますので、

以下のメールフォーマットをご記入の上、弊社までご依頼下さい。

また、緊急対応をご希望の場合は、サービスセンタまで電話連絡も合わせてお願いします。

宛先：tech@omakase.jp

件名：「ftpaccess」ファイル名変更依頼

メール本文：-----ここから-----

顧客(お客様)番号：###ご記入下さい###

ご契約ドメイン名：###ご記入下さい###

連絡先電話番号：###ご記入下さい###

「ftpaccess」を設置したサーバ名：###ご記入下さい###

「ftpaccess」を設置したディレクトリ：###ご記入下さい###

上記ディレクトリ設置「ftpaccess」のファイル名変更を依頼します。

-----ここまで-----

■ CGI(Perl)/PHP の動作環境

◆ 利用上の注意事項

フリーCGI サービスでは、CGI(Perl)/PHP の設置(実行権限の変更が適用されるディレクトリ)に制限はありません。ご都合に合わせたディレクトリに CGI(Perl)/PHP を設置頂くことが可能です。また、同様に実行権限の変更も可能です。

お客様が設置された CGI(Perl)/PHP スクリプトの動作、内容につきまして、弊社ではサポート対象外となっております。動作しない場合には、該当 CGI(Perl)/PHP スクリプトの制作元/開発元へお問い合わせ下さい。弊社サポートは、フリーCGI サービスでのサーバ仕様部分を範囲としております。

お客様が設置された CGI(Perl)/PHP スクリプトが、連続起動などの理由により、サーバに対して高い負荷を与えている場合、お客様への事前連絡なしに停止させて頂く場合がありますので、予めご了承下さい。

セキュリティホールが存在する CGI(Perl)/PHP スクリプトを設置された場合や、シェルアクセスを仮想的に行う CGI(Perl)/PHP スクリプトについては、弊社側で確認次第、お客様の承諾なく弊社側で削除致します。予めご了承下さい。

◆ 拡張子について

登録されている拡張子は、以下の通りとなります。

特に SSI の拡張子は[html]では動作致しませんのでご注意下さい。

拡張子	
拡張子	説明
.cgi .pl	CGI(Perl)
.php	PHP
.shtml	SSI

◆ バージョンと各種コマンドパス

フリーCGI サービスでは、Perl や Sendmail など、サーバ側で用意したプログラムをご利用頂くことが可能です。主なプログラムのパスは下記のようになっております。

バージョンとサーバパス		
コマンド/ソフトウェア	サーバパス	バージョン
Perl	/usr/bin/perl	5.8.5
Sendmail	/usr/sbin/sendmail	8.13
PHP	/usr/bin/php	4.4.7
NKF	/usr/bin/nkf	2.02
htpasswd	/usr/bin/htpasswd	
uuencode	/usr/bin/uuencode	
uudecode	/usr/bin/uudecode	
MySQL		4.0.20

※2010年11月現在の情報です。

上記以外のプログラムパスが必要な場合、または導入の有無が不明な場合には、弊社までお問い合わせ下さい。

CGI(Perl)は CGI wrapper を通してユーザ権限で実行されます。

サーバのセキュリティ上の理由により、各プログラムは予告無くバージョンアップを実施させて頂く場合があります。

■ データベース

◆ MySQL と phpMyAdmin

フリーCGI サービスでは、PHP+MySQL による動的なコンテンツが動作可能な環境にあります。
データベースは CGI サーバと Web サーバそれぞれ 3 つ(計 6 つ)作成が可能となります。

MySQL を WWW ブラウザから MySQL のテーブル操作/メンテナンスを行って頂くために、
phpMyAdmin をご用意しております。phpMyAdmin は下記 URL にてアクセス可能です。

CGI サーバ上の phpMyAdmin URL
[<https://cgi1.sec4u.jp/phpMyAdmin/>]

Web サーバ上の phpMyAdmin URL
[[http://ご利用 Web サーバ名/phpMyAdmin/](http://ご利用Webサーバ名/phpMyAdmin/)]

ユーザ ID/パスワードを求めるダイアログが表示されますので、ログインするデータベースのユーザ ID/パスワードを入力してログインして下さい。

初期状態では、1 つのデータベースが設定済ですので、すぐにご利用可能です。MySQL /phpMyAdmin にログインするための情報は、サーバに FTP ログインするための情報が元となります。

FTP ログイン名に”-“が含まれる場合には、”-“を削除して頂く必要があります。例えば、FTP ログインユーザ名が[ab-cdftp]の場合、”-“がなくなり、データベース上では[abcdftp]となります。

MySQL ログイン情報	
項目名	情報
データベース名	(FTP ログインユーザ名)01
接続先	Localhost
データベースユーザ名	(FTP ログインユーザ名)
データベースパスワード	(FTP ログインユーザ名のパスワードと同じ)

phpMyAdmin ログイン情報	
項目名	情報
phpMyAdmin ログイン ID	(FTP ログインユーザ名)
phpMyAdmin ログインパスワード	(FTP ログインユーザ名のパスワードと同じ)

例として、ご利用頂いている CGI サーバへの FTP ログインユーザ名が[abcdftp]であった場合には、MySQL にログインするための情報は下記のようになります。

例：MySQL ログイン情報	
項目名	情報
データベース名	abcdftp01
接続先	Localhost
データベースユーザ名	abcdftp
データベースパスワード	FTP ユーザ[abcdftp]のパスワード

例：phpMyAdmin ログイン情報	
項目名	情報
phpMyAdmin ログイン ID	abcdftp
phpMyAdmin ログインパスワード	FTP ユーザ[abcdftp]のパスワード

● ご利用上の注意事項

外部ネットワークからの呼び出しには対応しておらず、[localhost]からの接続のみとなります。また、シェルアクセスは無効となっておりますので、phpMyAdmin 経由で MySQL をご利用下さい。

MySQL、並びに、phpMyAdmin のご利用方法につきましては、弊社サポート対象外とさせて頂いております。仕様に関わるお問い合わせはお気軽にお申し付け下さい。

◆ MySQL データベースの追加

サーバ設定時、データベースは1つ作成済みですが、標準で CGI サーバと Web サーバそれぞれ3つまでご利用頂くことが可能です。データベースの追加が必要な場合には下記フォーマットに必要事項をご明記の上、メール、または FAX にて弊社までご連絡下さい。

弊社にてお客様からの追加申請を確認後、1～3 営業日程度で設定情報をご連絡いたします。

✦ メールによるご連絡

下記のフォーマットに従い、おまかせサーバサービスセンタ<reg@omakase.jp>までご連絡をお願い致します。データベース追加後、メールにてご連絡差し上げます。

メールによるデータベース追加申請	
To (宛先)	reg@omakase.jp
From (送信元)	お客様ご利用メールアドレス
Subject (件名)	データベース追加申請
顧客(お客様)番号：####ご記入下さい#### ご利用ドメイン名：####ご記入下さい#### 組織名/担当者様名：####ご記入下さい#### FTP ユーザ名/パスワード：####ご記入下さい#### 作成するドメイン名：“cgi.お客様ドメイン名”または“www.お客様ドメイン名” おまかせサーバサービスのフリーCGI サービスに付属する MySQL データベースについて、 追加の申請を依頼します	

✦ FAX/郵送によるご連絡

次ページのデータベース追加申請を、おまかせサーバサービスセンタまで、FAX、または郵送にてご連絡下さい。追加設定完了後、ご連絡先メールアドレス宛にご案内差し上げます。

フリーCGI サービス MySQL データベース追加申請書

おまかせサーバサービスのフリーCGI サービスに付属する MySQL データベースについて、以下の通り、追加を申請します。

申請日	年 月 日
顧客(お客様)番号	※8桁のお客様固有番号です。
ご利用ドメイン名	
組織名	
連絡先担当者様	
連絡先電話番号	
連絡先メールアドレス	

新しく MySQL データベースを申請します。

おまかせサーバサービスセンター宛	
FAX 番号	03-5304-8162
送付先	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4 住友不動産西新宿ビル 5F 株式会社ハイパーボックス おまかせサーバサービスセンター宛

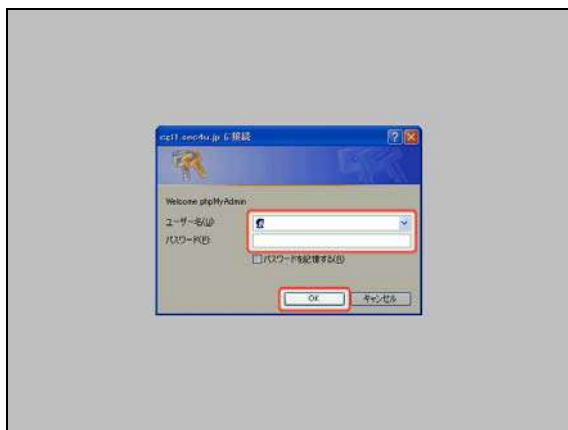
※FAX、または郵送のどちらかでご連絡下さい。

◆ データベース上のデータについて

MySQL のデータは、FTP 経由では操作が不可能な場所に保存されております。そのため、MySQL 上のデータは、FTP 経由ではなく phpMyAdmin からバックアップして頂く必要があります。

下記の phpMyAdmin 経由からのバックアップ方法をご参照の上、定期的に行って下さいませよう
よろしくお願い致します。

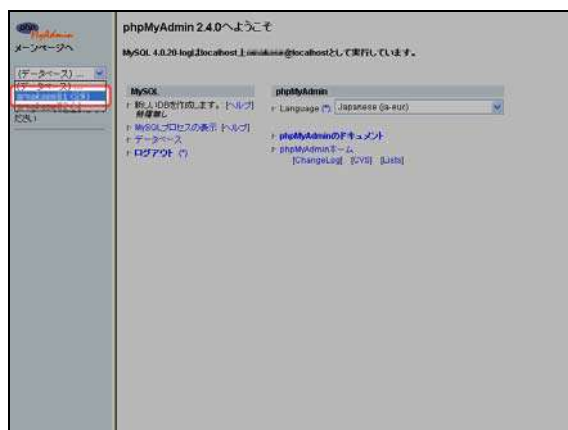
◆ phpMyAdmin 経由によるデータベースのバックアップ方法



※ [https://cgi1.sec4u.jp/phpMyAdmin/] へアクセスを行い、phpMyAdmin のユーザ ID/パスワードを入力し、[OK]をクリックしてログインして下さい。

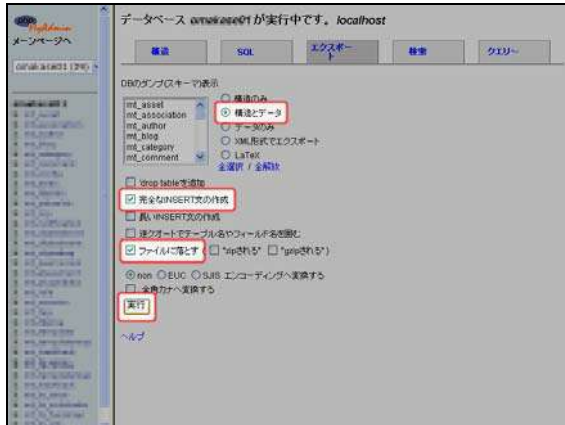
※ CGI サーバの URL です。

Web サーバの URL は
[http://ご利用 Web サーバ名/phpMyAdmin] となります。手順は CGI サーバと同様です。



phpMyAdmin ログイン後、左側メニューより、バックアップするデータベースを選択して下さい。

データベースのバックアップ作業は定期的、必ず実施して下さい。

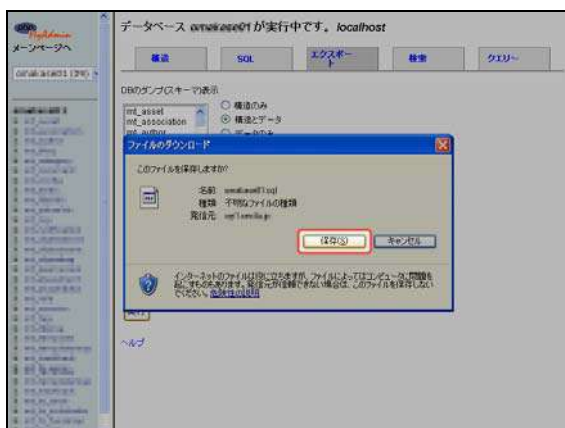


右側タブメニューのエクスポートをクリックして、エクスポート画面に移動します。



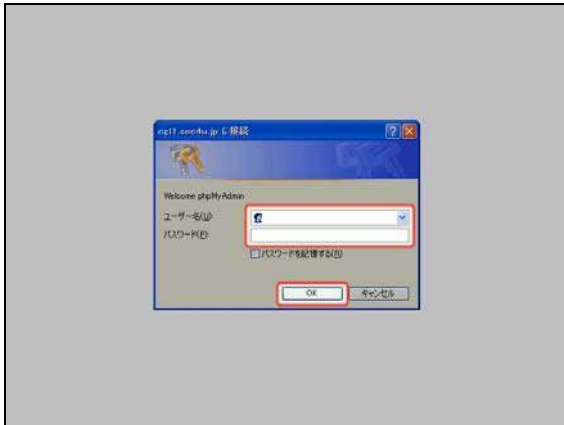
オプションを指定して実行ボタンをクリックします。ファイルに落とすというチェックボックスを有効にして下さい。

左の画像はよく使用されるオプションです。詳細はMySQL 関連の情報をご参照下さい。



保存したファイルが、MySQL データのバックアップファイルです。大切に保管して下さい。

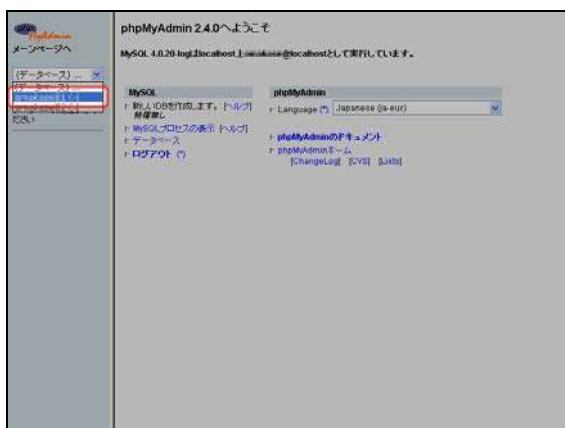
✦ phpMyAdmin 経由によるバックアップデータのリストア



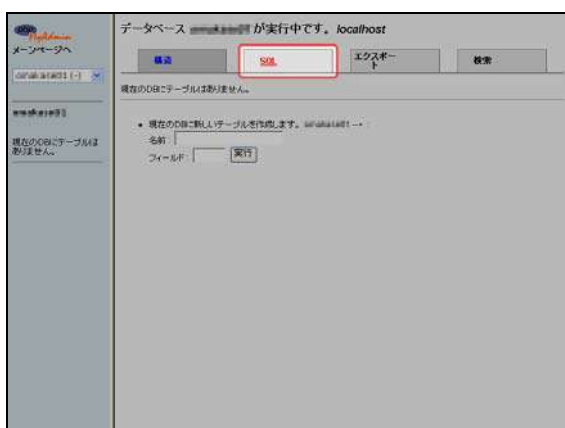
※ [https://cgi1.sec4u.jp/phpMyAdmin/]へアクセスします。phpMyAdmin のユーザ ID/パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

※CGI サーバの URL です。

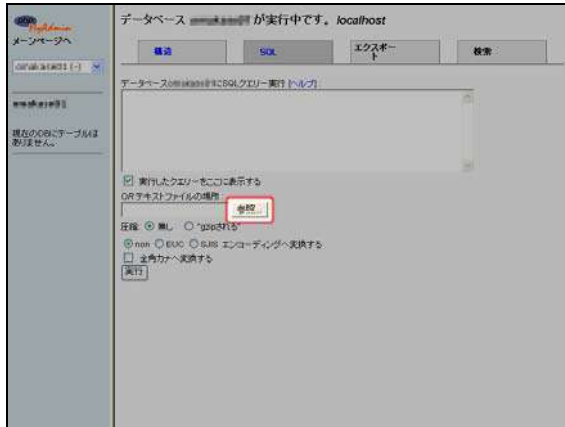
Web サーバの URL は
[http://ご利用 Web サーバ名/phpMyAdmin]となります。
手順は CGI サーバと同様です。



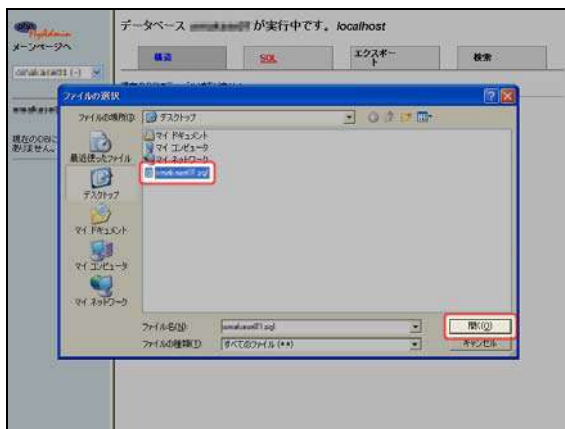
phpMyAdmin ログイン後、左側メニューより、リストアするデータベースを選択します。



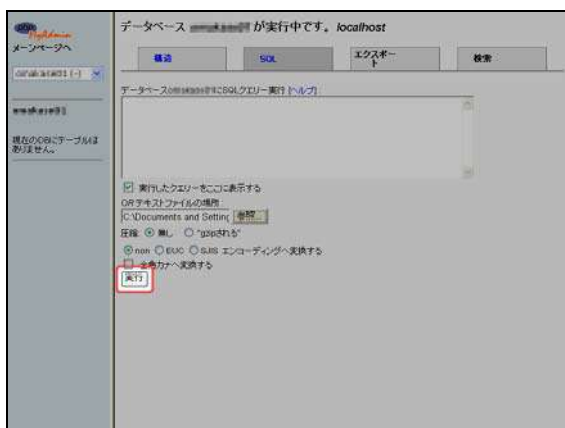
右側タブメニューの SQL をクリックして、SQL 画面に移動します。



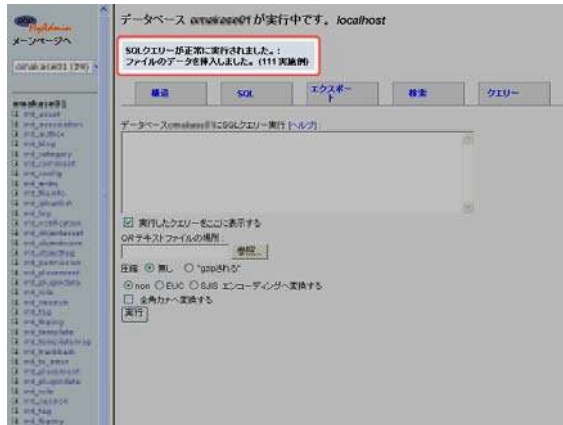
SQL クエリ実行項目にある“OR テキストファイルの場所”から参照ボタンをクリックします。



バックアップしたデータベースファイル(ファイルの拡張子は[sql])を選択します。



その後、実行ボタンをクリックします。バックアップファイルより SQL クエリが読み込まれ、バックアップした状態に復元します。



正常に完了すると、クエリ実行結果が表示されます。以上の作業でリストア作業は完了です。

リストア作業は上書きではなく、追記となります。このため、以前のデータが残ったままリストアすることは出来ません。このような場合、既存データを全て削除した上で実行して頂く必要があります。

削除されたデータはサーバ上から元に戻すことは出来ません。リストア作業は慎重に実行していただきますようお願い致します。

インポートした際のデータに文字化けが発生している場合、エクスポートおよびインポートを実施した時にそれぞれ指定した文字コードが異なっている可能性があります。エクスポートおよびインポート作業を行う際に文字コードが同じであることを確認してください。